

## 竹下、ハムハムハム——偶発性に身を委ねた「集合的創造性」の実践

森村・川村ゼミ（岩川葵宥、岩田美月、香取声、高橋優樹）



森村・川村ゼミでは、ソーシャリー・エンゲイジドアート（以下、SEA）の理論と実践、また、現代に至るまでの非常に多岐にわたるアートの潮流について研究を行ってきた。

山本(2019)<sup>(1)</sup>は、1990年代以降の現代美術における「他者」に対する関心の高まりを指摘している。ニコラ・ブリオーは『関係性の美学』の中で「リレーショナル・アート」という概念を用い、関係性を産出するアートに理論的枠組みを与えた。これはアート界に多大な影響を与え、SEA またそれに類似した「参加型アート」、「コラボレーション型アート」等の発展を促した。グラント・ケスターはSEAの議論の中でリレーショナル・アートを発展的に継承し、「コラボレーション」の意義を提唱している。そして、アーティストと鑑賞者が相互に関係し合うプロセスを重視し、対話やコラボレーションを核にした芸術実践の新たな可能性を論じた。

このような近年の芸術実践について研究していく中、同一のゼミに所属している学生による、協働的な実践の可能性について議論を行った。そして、制作のテーマは、**同一のゼミに所属していながら価値観や関心が異なる「他者」としての学生によるコラボレーティブな芸術実践**に決定した。SEAが興る以前には1950年代後半から60年代にかけて「ハプニング」というパフォーマンスの一形態がアラン・カプローによって行われた。一回性が強く再現不可能なそれは、アーティストと鑑賞者という境界線までも曖昧にさせる。私たちは、ここに見られるような**偶然性、偶発性をキーワードに、それを他者という境界線を溶解させる装置として、一連の制作過程に持ち込んだ**。また、オーウェン・ケリーは、「集合的創造性」を提唱した。モダニズム的発想の支柱にある一人の芸術家の主導による「個人的創造性」に対して、「集合的創造性」は一人の芸術家による権威を切り崩し、より民主的な芸術実践を形作る。私たちの試みは**偶発性に基づいた「集合的創造性」の実践**である。

注

(1) 山本浩貴(2019)『現代美術史』中央公論新社、pp.79-118

◎パフォーマンスを行う前には、最低限必要なことだけを定めるに留めた。まず、手元にあった本から無作為に単語を選び出し、そしてそこから連想された各々のイメージをもとに、撮影場所や衣装のみを決定した。

本映像では、白い空間内で黒い装束に身を包んだ三人によって複数の身体活動が取り行われる。この空間においては、種々の色によって保たれる複雑な世界の構成は「無化」され、存在の有無、そして純粋な動体のみが提示されるのである。すなわち、黒という色はただ存在をのみ主張し、逆説的に白は存在の無を主張する。この世界を形作る複雑多様な事物の意味付けや価値付けがなされる以前にある有機体としての存在、それによって創出されるプリミティブな美しさ。本作品はその一部分を記録し、再構成した映像である。

1.



2.



3.



4.



5.



◎なお、本作の制作にあたって、都内のアートギャラリーの展示室をスタジオのように利用した。私たちはパフォーマンス集団「雁か鷹 (GANKATAKA)」として偽のコンセプトを作成し、利用申請をした。以下がそのコンセプトである。

準備ができ次第、展示室内で私たちが動き回るパフォーマンスを行います。その間展示室のドアを閉め、来場者が来ても展示室内には入れないようにします。展示室内で確かにパフォーマンスは行われていますが、来場者はそれを見ることができず、ドアの向こうからかすかに聞こえる物音だけを頼りに室内の光景の視覚化を試みることであります。

視覚では確認できないけれど、確かにそこにあるものに向き合うこと。我々の多くが最も頼りにしている視覚が使えないとき、それを見過ごすのではなく、他の感覚や想像を用いて補完を試みること(=寄り添うこと)。これらを来場者にうながすパフォーマンスです。また、想像という、各々の経験してきたことやそのときの感情によってズレの生じる曖昧なものを含ませることで、各来場者が脳裏に視覚化した光景に差異が生まれることも、本企画の狙いの一つです。

DESIGN FESTA GALLERY

NEWS ABOUT BLOG 展示スケジュール 公募企画展 出展までの流れ スペース料金 空室状況

HOME / 展示スケジュール

展示スケジュール 企画展

< 2020年11月10日 >						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

☑ 日付を検索条件に含める  
☑ 全て  
☐ WEST  
☐ EAST  
☐ アートコーナー  
☐ アートピース

吉川諒,ハグマユト  
WEST 1-C  
2020.11.9 - 2020.11.11

夕間  
WEST 1-G  
2020.11.9 - 2020.11.15

GANKATAKA  
雁か鷹  
WEST 2-C  
2020.11.10 - 2020.11.10

DESIGN FESTA GALLERY

DESIGN FESTA GALLERY

DESIGN FESTA GALLERY

ギャラリーのホームページでの紹介。